

学習の基盤づくり 各家庭での実践「わが家では…」



家庭での学習習慣をつけるために…

何かと言い訳をして、なかなか机に向かわない我が子の姿に腹を立て、怒ったり、嫌みを言ったり…。子育ての先輩からのアドバイスで、「自分で決めるように問いかける」ことを試してみました。「何時までテレビ見るの?」「今日は何時まで頑張れそう?」そして、決めたとおり実行できたら「がんばったね。」のひと声を添えて。最初は、我慢と時間が必要でしたが、少しずつ私も子どもも変わることができました。

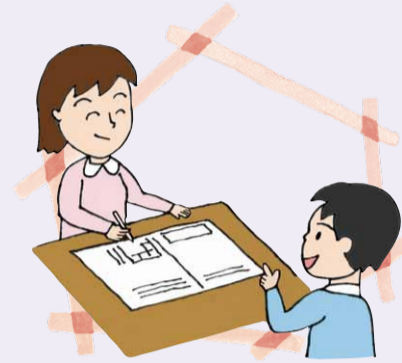
(小6 母)



親子で楽しみながら新聞で勉強!

中学生になると、部活動や宿題で忙しくなり、あまり話もしくなくなりました。でも、私が日曜日の新聞に掲載されているクロスワードクイズや算数の問題などをしながら「ここ分かる?」と尋ねたら、「もぉ」と言いながらも一緒に考えてくれました。今では、日曜日の恒例行事になっています。私も子どもに教わりながら勉強(?)しています。

(中2 母)



話を最後まで聞く練習

小学校に入学して最初の参観日、先生の話をしっかり聞いている子どもたちの中で、我が子はそわそわ、落ち着かず…。先生から「目を合わせて話すこと」「話を最後まで聞いてから話すこと」の大切さを伺い、子どもの話を途中でさえぎっていたことを反省しました。今、がんばっています。

(小1 父)

学び合う!わが子の子育て、親子の絆

気づいていますか? 子どものSOSサイン!

子どものサインを見逃さない! そんな親子関係を築くために…困ったときに相談できる人間関係づくりにも…

いじめや不登校につながる悩みなど、子どもが心の問題を抱えたとき、家庭の中で子どものSOSやストレスサインに早く気づくことで、問題行動の早期対応・未然防止につながるケースもあります。学校や関係機関等へ早めの相談や、何でも話し合えるような日頃からの親子関係を築くことが大切です。また、日頃から保護者同士で相談し合えるネットワークも重要になってきます。

「親育ち応援学習プログラム」(親プロ)

これから親になる若い世代の方から、現在、子育て最中の方、そして孫育て世代の方まで、幅広い世代の方を対象にした「親育ち」を応援するために岡山県が開発した参加体験型の学習プログラムです。



Ⅲ-2 子どもの規範意識ってどうやって育てるの?

【エピソード】
小学校4年生の息子は、カードゲームに夢中。学校から帰ってきて親と遊べば友達とカードを持ち回って遊んでいました。ある日、息子がカードを奪ったまま遊びに出かけてしまい、見るに見かねて片付けることにしました。その数の多さに驚かされたながらもよく見てみると、買った覚えのないものがあることに気がきました。息子とは、友達とのトラブル回避のためカードをあげたりもらったりしない約束をしていたはずなのに…。

帰ってきて、話を聞いてみると、やはり、友達同士でカードをあげたりもらったりしていました。息子は、いけないことだと分かっているながらも、仲良しの友達が数多くこのようなやりとりをしているのを見て、我慢できず約束を破ってしまったようです。また、友達の中には、子どもたちだけで店に行きカードを購入したり、子ども同士で売買したりしている者もいて、トラブルが起きていたことも分かりました。息子に対してどのような対応をしたらよいのでしょうか。

ワーク1
あなたがこのエピソードの中で

エピソードや資料などをもとに、参加者が互いに感じたことや経験を出し合います。

ワーク2
このエピソードと似たような経験を語り合ってみましょう。(お子さんのエピソードでも、あなた自身が子どもの頃のエピソードでもどちらでもかまいません)

あなたのお子さんのエピソード	あなた自身が子どもの頃のエピソード
・どのような出来事? ・保護者としてどのように対応した? ・保護者として考えさせられたことは? など	・どのような出来事? ・あなたの保護者の対応で心に残っていることは? ・あなたが考えたことは? など

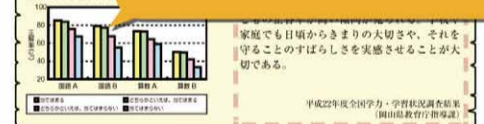
互いに意見を出し合いながら、学習を進めていきます。

ワーク3
家で約束やルールをつくる時に気を付けていることはどのようなことですか。また、お子さんがその約束やルールを大切に思い、守っているようにするためにどのようなことをしていますか。

あなた
【つくる時】
【大切に思い守る時】
グループ
直接書き込むことができます。

資料1
ルールって だれのためにあるんだろう。
子どもたちは、家庭でのルールや約束を守ったり従ったりしながら、人との関係の在り方や社会のルールを学んでいます。家庭のルールには、あいさつ、家に帰る時間、寝る時間、きちんとした姿勢などの生活上のルールもあれば、他人に迷惑をかけない、うそをつかないなどといった道徳上のルールもあります。しつけに一貫性があり、ルールを破ったときに罰則を設けておくことが大切です。

話し合いや学びを深めるための資料等を掲載しています。



資料2
子どもの規範意識を育てるために取り組んでみようと思ったことを書いてみましょう。

子育てや親としての役割を互いに交流しながら楽しく学びませんか?

「親プロ」で学び合うことで、子どもへの接し方や家庭での対応について考えるきっかけにもなります。

「親プロ」はこのような場面で活用されています。



親子で子育て講座に参加し交流している様子



学級懇談会で、テーマについて話し合いをしている様子



PTA研修会で、和やかな雰囲気づくりのためにゲームをしている様子

イライラしたり、大変なのは自分だけじゃないんだと気づき、少し安心しました。いろいろな考えに触れられてよかったです。

「親プロ」で気づきふいがる自分の子育て!



「親育ち応援学習プログラム」に関するお問い合わせ先
岡山県教育庁生涯学習課 社会教育班 TEL 086-226-7597

岡山県親育ち応援学習プログラム **検索**